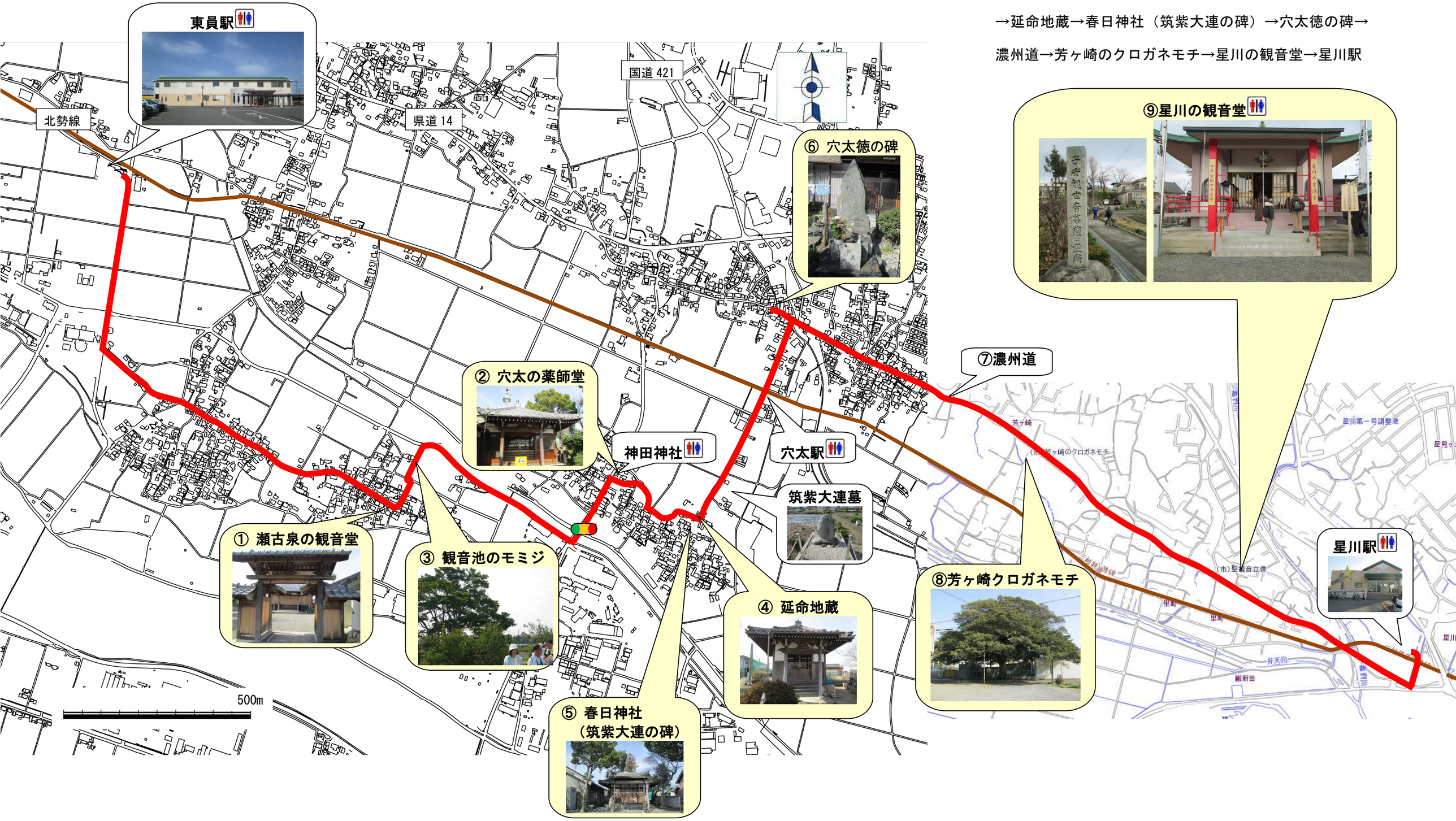
5　古き仏様と伝説に出会う　（東員駅～星川駅まで）

コース　約８Ｋ　３時間

東員駅→瀬古泉の観音堂→観音池のもみじ→穴太薬師堂→延命地蔵→春日神社（筑紫大連の碑）→穴太徳の碑→濃州道→芳ヶ崎のクロガネモチ→星川の観音堂→星川駅



5　古き仏さまと伝説に出あう（東員駅～星川駅まで探訪）

「くわしん福祉文化協力基金」の助成を受けてつくりました

① 瀬古泉の観音堂

正式には穴太山多井寺で、元は穴太にあって、鎌倉時代初期の記録（「作善日誌」）には穴太の観音堂とか大井の観音とか書かれている。ご本尊の千手観音立像は奈良時代の行基の作と伝えられる。毎年８月１０日頃の日曜日にご開帳される。

②　観音池のモミジ

瀬古泉にあり、豊富な水が湧き出る池があり、その側に観音堂があったが、織田信長の侵攻によって焼失したと言われる。祀られていた観音像は東京目黒の不動さんに移されたと伝えられる。池は埋め立てられたが、古い大きなモミジがある。

③　穴太の薬師堂

ご本尊の薬師如来座像はヒノキ材の一本造りで、高さ 89.6cm 平安時代中期の作です。三重県有形文化財に指定されている。地元で奉賛会を組織し、大切に管理・保存されている。

④ 延命地蔵

本尊の地蔵菩薩坐像は室町時代に応仁の乱の戦火によって亡くなった人々を弔うために作られたと伝わる。筑紫にあった禅定寺に安置されていたが、明暦２年（1656）に寺が移転するに当たり、地蔵のみが祀られたと伝わる。明治１７年に地蔵堂は火災にあい、仏像のみ持ち出され、昭和４４年８月に現在地に地蔵堂が筑紫区によって再建された。

⑤ 春日神社（筑紫大連の碑）

筑紫の春日神社境内には「筑紫大連」の碑が建てられている。この付近は筑紫国（九州地方）から移住してきた人たちによって開発されたようで、その首長である筑紫大連（つくしのおおむらじ）の記念碑がある。近くには彼の墓もある。

⑦ 穴太徳の碑

穴太の濃州道沿いにある。通称「穴太徳」は本名中野徳次郎、神戸屋徳次郎とも称した。穴太村で文政６年（1823）に生れ、桑名で侠客となった。荒神山の血闘に参加して有名です。多くの人たちに知ってもらうために街道筋に立てられた碑です。

⑧ 濃州道

桑名城下から員弁郡を通り、濃州（岐阜県）へ抜ける街道で、員弁郡の人たちが馬に荷物を載せて桑名城下町に往来した道です。

⑨ クロガネモチの木

芳ヶ崎にある天皇八幡社の参道にあります。高さは１５ｍほど、見事な枝ぶりが四方に繁っている。桑名市天然記念物指定。

⑩ 星川の観音堂

正式には星川山多門院安渡寺という。鎌倉時代初期の記録（「作善日誌」）には星川の観音堂と書かれている。ご本尊の聖観音立像は平安時代中期の作と思われる。高さ３０cm ほどの小さな仏さまで、３３年に一度、ご開帳される。

穴太の薬師堂　薬師如来坐像